

四日市版コミュニティスクール報告書（令和6年度総括）

四日市市立西朝明中学校

校長 諸岡 篤

1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

「四日市版コミュニティスクール」として歩み始め、本年度は5年目となりました。下野・八郷西両地区などの支援のもと、「防災@にしあさけ」の開催や地域行事への積極的な参加を通して、下記のねらいに基づき「地域とともにある学校づくり」を目指して教育活動に取り組んでいます。

- (1) 地域とともにある学校をめざし、地域・保護者とともに協働できる学校にするために協議会を設置し、今日的な教育課題について、学校外からの視点を加えて検討を進めることでより効果的な課題解決を図ります。
- (2) 教育活動を学校評価に起点を置いたものとします。そのために、これまでの学校関係者評価をより充実させ改善に努めることで、保護者や地域の方々の思いや願いを反映した学校づくりを推進します。
- (3) 学習支援をはじめとして、様々な教育活動に保護者や地域の方々との活動を継続・発展させ、「地域とともにつくる学校」の推進を図ります。
- (4) 様々な視点からの意見や考えを交流し合いながら、生徒の地域コミュニティづくりへの参画意識を高め、地域に貢献できる人材の育成につなげます。

2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について**(1) 教育活動の実践事例****<6月「防災@にしあさけ 2023」>**

コロナウイルス感染症が5類になったことをうけ、炊き出し以外は通常の形で、地域防災訓練「防災@にしあさけ」を開催することができました。

第1部は、四日市市北消防署北部分署の中島署長から「防災意識と行動力を高める」という演題でご講演会をいただきました。地域の状況とともに、被災した場合に備えてどんな準備をしておくとういことや、また中学校が避難所になったときは、中学生の力が大きくなることなどをお話いただきました。



【1年生「地域防災・環境マップ」】



【2年生「初期消火訓練」】



【3年生「避難所運営ゲーム」】

第2部は学年別体験学習で、1年生「地域防災・環境マップ」の発表を地区市民センターや自治会長の方に聞いてもらうとともに、地域の方からのご意見を直接伺う機会もあり、改めて地域のことを考える機会となりました。2年生では「初期消火訓練」で実際に地域に出て消火栓にホースをつないで放水する訓練を体験するとともに、起震車の体験も行いました。3年生では避難所運営ゲーム「HUG」を体験し、学校が避難所になった場合に、どのように人や物資を分けて避難所として運営していくかということを、地域の自治会の方々を考え意見を出し合いました。

今回の活動をとおして、生徒たちも防災への意識が高まり、「避難所を大人ではなく中学生が中心に運営していたこともあるとしり、自分たちも支えられる側から支える側が変わっていてその自覚をもって防災に取り組んでいこうと思った。」「1危険性を知る2情報をとる3行動する」が重要な三つのポイントだと教えてもらった。などを感じ、考え、これまでの自分の生活を振り返るよい機会となりました。

運営協議会からは、中学生の力を各地域行事においても発揮して欲しいとご意見いただきました。

<夏～秋 地域行事や活動への参加>

各地域より、中学生へのボランティア依頼があり、自主的な参加を募りました。各行事において人数の違いはあるものも、今年も生徒が地域のみなさんと一緒に活動する貴重な機会を得ることができました。

八郷西祭りのお手伝いには、2年生の有志を中心にやぐら設営に参加しました。秋の八郷フェスタには、1・2年生を中心にたくさんの生徒がミニゲーム等の運営係として力を発揮しました。また、毎年第1日曜日に実施される各地区の地域清掃活動（下野地区「朝明川クリーン作戦」と八郷西地区「クリーンアップ八郷」）に有志・部活動（野球部）で参加しました。地域の方からは生徒の一生懸命に活動する姿にお褒めのお言葉をたくさんいただきました。



<ゲストティーチャーを招いての講演会など>

1・2年生を対象に、お笑いタレントの田中哲也さん自身のいじめ体験の講演を聴きました。はじめに、体ほぐしから入りました。ストレッチをすることで、生徒たちの心もほぐれたように思います。田中さんのお話には、学生の時にうけたしんどい思いから、いじりといじめの境界線についてなど、生徒たちに突き刺さる強いメッセージとなりました。

また、地域企業で活躍する2名の方から職業講話として2年生が話を聞きました。働くうえで大切にしていることや仕事のやりがいなどを聴き、自分たちの仕事観を考えるよいきっかけとなりました。

3年生では、多文化共生推進室から3名の外国籍の方からお話をきく機会がありました。それぞれの国の文化や伝統を聴きながら、それぞれの国の良さについて考える時間となりました。

1年生の音楽の授業では、山田先生にきていただき、お箏教室を開催しました。伝統の音楽に触れる時間となりました。

今後もさまざまな方な立場の方の講演や教室を行うことによって、今の生徒たちにとって必要な力をつけていきたいと思います。



(2) コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果

- ・ 地域をよく知る立場（連合自治会長・市民センター・主任児童員など）からご意見をいただくことで、現在の地域の現状とともに、地域が求める中学生の姿を委員会を通して考えることができました。
- ・ 特に、「防災@にしあさけ」は地域の関係者の方たち力が大きく、生徒たちも地域の一員として自分たちに何ができるかということを考えるよい取組となっています。学校と地域とのつながりを大切にした地域防災訓練の取組を今後も継続していきたいです。
- ・ 本校は中小規模の学校であり、「部活動数の適正化」がここ数年課題となっていますが、次年度より「より自主的な活動へ」と変更していくことについて説明することで、地域での行事参加についても自主的なボランティア活動と変化していくことにご理解いただきました。今年度も有志参加であったものの、それぞれの行事に参加しており、地域の方からも大変うれしく活躍していただけたとの言葉もいただきました。生徒たちの中にも地域行事を大切にという心は養われているように思います。



3 今後に向けて

- ・ 本校の最重要課題である不登校生徒対策では、校内ひだまり教室を活用しながら、学校と生徒・保護者のつながりを大切にして支援を続けていきます。また社会的自立を目指し、きめ細やかに対応するとともに、関係機関や地域の民生委員等との連携も密にしながら対応するよう心がけます。
- ・ I C T推進事業を受けて3年目となり、教職員の活用の幅も広がり、授業においても、文房具の一つになるつつあります。支援の必要な生徒への対応も含めて、子どもたちの思考力向上に向けて今後も学習に活かしていきます。
- ・ 教育活動や行事などが通常どおり実施できるようになり、生徒たちの自主性も大切にしながら進められるように努め、生徒によい思い出となるよう、今後も工夫して実施していきます。
- ・ 運営協議会を中核として、自主的な地域行事の参加を継続させるとともに、地域人材の活用を一層進めることで生徒の地域社会への参画意識を高めたいと考えています。
- ・ 本校の特色ある取り組み「防災@にしあさけ」では、他団体とも連携し「社会の一員として」「防災の担い手として」活躍できる中学生の存在が注目されています。地域防災訓練などを通して、地域に貢献できる人材を育成するだけでなく、地域とのつながりを大切にした教育活動を実践し、社会に開かれた学校を目指していきます。

令和6年度四日市版コミュニティスクール活動報告

四日市市立西朝明中学校

委員長 野呂 親信

校長 諸岡 篤

月	協議会の開催	活 動 内 容
4		
5	第1回運営協議会（9日）	・委員委嘱状交付 ・学校の現状（学校の様子） ・学校づくりビジョンについて等
6		「防災@にしあさけ2023」参観（10日）
7		
8		
9	第2回運営協議会（12日）	・学校の現状（学習の取組等） ・本校における学校指定物品にかかる取組 ・通学路の交通規制について ・令和5年度体育祭と文化祭について ・今後の部活動数について ・中学生の地域行事への参加について
10		体育祭参観（3日） 文化祭参観（31日）
11	第3回運営協議会（2日）	・授業参観 ・学校の現状（各行事の様子など） ・ICT活用及び論理的思考向上推進校について ・「学校自己評価アンケート」 ・給食の試食（希望者）
12		
1		
2	第4回運営協議会（8日）	・今年度の学校教育活動の成果と課題 ・学校自己評価集計結果などを基にした学校関係者評価と次年度に向けて
3		卒業式の参列（7日）